

# f.wave



特集1 仕事と育児

特集2 子育てサポートMap

# 特集1 仕事と育児

「10年間で専業主婦世帯は減少し、共働き世帯の方が多くなってきました。職業人の夫と専業主婦、2人の子どもという社会保障システムにおける標準モデル世帯も変更が求められるようになるでしょう。仕事と家庭(育児)の両立をテーマに特集を組みました。」

## 専業主婦と経済成長

最近まで配偶者控除などの税や年金、保険などを始めとする社会制度の仕組みは、サラリーマンの夫と専業主婦の妻の存在を前提としていました。妻は家事・育児に専念して、長時間労働の夫を支えてきました。この仕組みは経済成長を推進するには非常に効率的でした。

企業は競争に打ち勝つための方法として、長期勤続・長時間労働ができる人に対して重点的に教育や訓練を行い、仕事の成果によって昇進と賃金を決めました。一方、短期勤続や短時間労働の分野では、業務内容の標準化やマニュアル化を進め、多くのパート労働者が生まれました。それによって、正社員間や正社員とパート労働者との賃金格差が生じてきました。長引

## 共働き時代へ

不況はそれらの施策を徹底させ、賃金格差はますます大きくなり、終身雇用の形態も崩壊してきました。

バブル崩壊後の社会経済環境の影響か、共働き世帯が多くなってきました。女性が共働きの理由としてあげているのが、『家計の足し』や『生計の維持』であり、同時にやりがいのある仕事に『生きがい』を見出すことや、仕事を続けることで、『職業上の成功』を望む人も増えてきています。これは多くの女性が働くことにより、経済・社会・精神的な自立をし、自己実現を目指してきた結果でもあるでしょう。

「子どもができたら仕事をやめて、大きくなったら再び働く方がよい」という再就職型から、最近では「子供ができてみずと仕事を続ける方がよい」と考える継続就業型を

支持する割合が急増し、大きな差がなくなってきました(下図)。

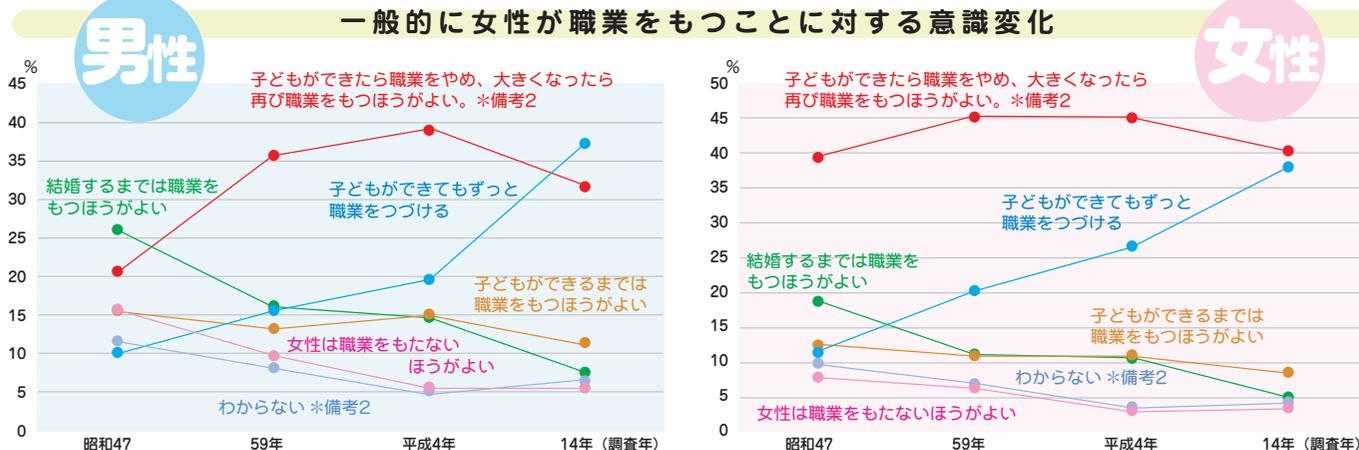
家事や育児を専業主婦に依存してきた社会の仕組みは行き詰まり、今後も共働き世帯が増加する可能性は高く、仕事と家庭の両立が大きな課題になってきました。

## 子育て支援

男女共同参画社会は本来男女が持つ能力を充分に発揮でき、社会の様々な分野で男女が対等に参画することを目指しています。

しかし、現実には女性が様々な分野で対等に参画できていません。家事労働の分野では、夫が買い物や食事の後かたづけをするなど、少しづつ男女共同参画が進んでいるように思えますが、共働きの場合には女性に時間的・体力的にも負担が大きくなっている状況が伺われます。

### 一般的に女性が職業をもつことに対する意識変化



(備考) 1. 内閣府「婦人に関する意識調査」(昭和47年)、「婦人に関する意識調査」(昭和59年)、「男女平等に関する世論調査」(平成4年)、「男女共同参画に関する世論調査」(平成14年)より作成。  
2. 昭和59年の設問では、「職業をもち、結婚や出産などで一時期家庭に入り、育児が終わると再び職業をもつほうがよい。」  
3. 平成4年、14年は「その他・わからない」

# ファミリー・サポート・センターが できました

地域の中で子育てを支援する人と、依頼する人からなる会員組織です。ファミリー・サポート・センター アドバイザーが会員相互の調整を行います。

## ★主な援助活動の内容

- ・保育園・幼稚園などの送迎
- ・保護者が病気・出産・看病などの時
- ・病気の回復期にある子ども
- ・保護者が求職活動のとき

## ★援助活動時間 午前6時～午後10時

## ★利用料金（謝礼金）

700円／時（午前7時～午後7時）

900円／時（上記以外の時間、土・日、祝日、年末年始）

## ★連絡先 042（550）3855

ファミリーサポートセンター  
（秋川ふれあいセンター2階）

## ★申込み受付 月～金 午前9時～午後5時

一方で、「二日中子どもと2人だけだと息抜きができない」など、専業主婦の育児負担感は大きいとの声もあります。子育て中の女性に對して時間的・精神的・経済的なゆとりの支援が必要だと思われま

す。その解決策としては、フレックスタイムや在宅勤務など企業が働き方の多様性を取り入れることや、男性の育児休業取得を積極的に進め、育児参加の機会を増やすことが求められています。市で行っている支援策としては、誰もが気軽に利

## 子育てしながら 働き続けられる社会に

用できるものとして、子ども家庭支援センターで、親子に関する相談や子育て講座などを実施しています。そして、育児や介護の負担を広く社会で分担することが必要でしょう。

平成16年3月の「あきる野市民意調査報告書」によると、市民の子育てに対する要望は、

- ① 出産や子育てに対する経済的な負担を軽減する
- ② 延長保育や低年齢児保育等、保育サービスを充実する
- ③ 育児休業制度や労働時間の短縮等を普及させる
- ④ 子ども連れでも安全で活動しやすい人にやさしいまちづくりを進める
- ⑤ 妊娠・出産・子育てについて不安や悩みを相談できる窓口を増やす
- ⑥ 子供が健全に育つための体験学習や地域活動等を充実する

等となっております。

また、市の次世代育成支援行動計画の中にある「あきる野市の子どもをめぐる現状と課題」によると、2歳を中心に1歳から3歳の保育所の待機児童が多数います。また、児童育成会・学童クラブの待機児童も年々増加しています。女性一人当りの保育所の定員数が多いと、子育て女性の就業率は高いという結果も出ています。

今後子供ができてもしっかりと働く女性が増える可能性は高く、保育所の利用希望者も増えるでしょう。

安いコストで効果的な育児や介護の支援を行う方策が必要になります。重要な視点として注目されているのが、公共施設等の有効活用です。児童数の減少などの理由により、使われなくなった公立小・中学校の普通教室を子ども達の学習や遊びの場、地域住民の憩いの場や介護施設などとして利用しようという取組が文部科学省や厚生労働省が連携して進められています。あきる野市の五日市小学校や増戸小学校の余裕教室を利用して行われている児童館もその一例です。

また、今後定年を迎える団塊世代の人材活用があります。元気で様々な経験を有する人々は地域社会にとって貴重な存在です。そして定年後の人々のボランティア活動を活発にすることは地域社会の活性化や、世代間の助け合いにも繋がります。

## 参考資料

男女共同参画白書・あきる野市民意識調査報告書・平成15年版働く女性の实情

おはなし会・わらべうた・映画会・人形劇などのイベントを行っています。

秋川図書館 ☎ 558-1108  
 東部図書館エル ☎ 550-5959  
 五日市図書館 ☎ 595-0236  
 増戸分室 ☎ 596-0109

親子のこと何でも・・・

子ども家庭支援センター  
 (秋川ふれあいセンター2階)  
 ☎ 550-3313  
 月曜～金曜(祝日は除く)  
 午前8時30分～午後5時15分

育児相談 (申込みが必要)

あきる野保健相談所  
 ☎ 558-5091  
 乳児(月1回) 午前9時～10時30分  
 幼児(月1回) 午前9時～10時30分

保育園・幼稚園・幼児園子育てガイド

No.	園名	連絡先	実施日	時間	対象	内容	
1	東秋留保育園	558-1104	月～土曜日	午前10時～午後3時	未就園児とその保護者	育児相談・園庭開放・園行事参加(事前連絡必要)	
2	屋城保育園	558-1106					
3	神明保育園	558-1107					
4	すぎの子保育園	595-0450					
5	西秋留保育園	558-1105	月～金曜日	午前9時30分～午後4時	0歳～就学前児とその親	育児相談・園庭開放・園行事参加・保育体験	
			(子育てひろば)(予約制)		随時	午後9時30分～11時30分	0歳～就学前
6	草花保育園	558-7811	毎月第1・第3土曜日	午前10時～11時	生後3～12ヶ月	《あかちゃんサークルひまわり》 育児情報の交換・育児相談(定員15組)	
			毎週火曜日	午前10時～11時30分	1歳～4歳児くらい	《いちよの会》 遊び場の提供・園行事の参加・育児相談等	
7	秋川あすなる保育園	558-8299 電話 532-3811 ファックス 558-8365	月～土曜日	午前9時から	未就園児とその保護者	園庭開放 初回の方は受付(火曜日のみ)・登録	
			(子育てひろば)(予約制)		午前10時～11時30分	出産前(母子手帳交付者)	すくすく・ごころコース(定員15人程度)
			全8回(水曜日)	生後3ヶ月～9ヶ月		はいはいコース(おおむね定員12人)	
			全8回(金曜日)	生後10ヶ月～1歳2ヶ月		よちよちコース(おおむね定員12人)	
全8回(土曜日)	生後1歳3ヶ月～2歳	子育て相談(面談・電話・ファックス)					
8	ミニルームよつぎ	532-5442	随時	随時	0歳～就学前	育児相談	
9	よつぎ第一保育園	558-7221	毎週火曜日	午前10時～11時30分	0歳～就学前	園庭開放・園行事参加等(定員30組程度)	
			随時	随時	0歳～就学前	育児相談	
10	あきる野こどもの家	550-6245	月～金曜日	午前10時半～11時30分 午後3時～午後4時30分	未就園児と母親	園庭開放(事前連絡必要)	
11	あきる野こどもの家DUE		第2火曜日	午前10時30分～11時30分	0歳児とその親	ママとベビーのリラクゼーション(事前連絡必要)	
12	よつぎ第二保育園	559-0515	毎週火曜日	午前10時～11時30分	0歳～就学前	園庭開放・園行事参加等	
			随時	随時	0歳～就学前	育児相談	
13	誠和保育園	596-3301	毎月2回 (火曜日・土曜日)	午前10時～11時30分	0歳～5歳児とその保護者及び 出産前後の親	保育室と園庭の開放・情報交換等 常時育児相談受付(定員10人程度)	
14	増戸保育園	596-4627	随時	午前8時30分～午後5時	問わず	園庭開放・育児相談	
15	光明第六保育園	596-1303	毎月第3水曜日	午前10時～11時	未就園児	園庭開放・観劇会参加(年2回)・園行事参加	
16	五日市わかば保育園	596-3472	全11回(月曜日)	午前9時30分～11時30分	0歳～就学前	親子で遊んだり・園行事参加等	
17	五日市保育園	596-0339	全10回(木曜日)	午前10時～11時30分	未就園児とその保護者	園庭開放・園行事参加	
18	秋川幼稚園	596-0630	毎週水・木曜日	午前9時15分～11時30分	2歳～就園前	《ピコピコランド》 先生と幼稚園の保育を経験をする(定員10人)	
			第2・第4金曜日	午前9時30分～11時30分	2歳～就園前園児とその親	遊具で遊んだり・幼稚園の保育を体験・育児相談	
19	秋川文化幼稚園	558-5773	火・水・木・金曜日より 1日選択	午前10時～12時	2歳～3歳児	《有料》チャイルド教室 歌や遊戯・リズム遊び・プール遊び等(定員各クラス15人)	
			月1回		1歳～3歳児とその親	《いちご摘み、じゃがいも掘り、クリスマス会等》 幼稚園の体育館を中心に親子で遊ぶ(定員各100人)	
20	くさばな幼稚園	558-3018	毎週第1・第3木曜日	午前10時～11時30分	満1歳～就園前	自由遊び・育児相談(随時)	
21	すもも木幼稚園	558-8593	全19回	午前10時20分～12時	2歳～3歳児	園内すべて開放(定員50人)	
			月1回程度	午前10時30分～11時30分	1歳～2歳児	《うさちゃんベビー》自由遊び	
22	多摩川幼稚園	558-0218	月1回火曜日	午前10時30分～11時30分	2歳～4歳児とその保護者	《たんぼ広場》ホール・園庭開放	
			月1回水曜日	午前10時～11時	10ヶ月～1歳児とその保護者	《たんぼ広場ベビー》 赤ちゃんを持つお母さんたちの広場	
			月・火・木・金曜日より 1日選択	午前10時～午後3時	2歳～4歳児	《有料》うさぎ組 入園前の子どもの保育室・定期クラス・時間利用・完全予約制 (定員各クラス15人)	
23	ほうりんじ幼稚園	558-9067	毎週水曜日	午前10時30分～12時	2歳～就園前児とその親	ホール・園庭の開放・子育て相談(随時)	
24	ころりん村幼児園	559-4522	月～金曜日	午前9時～午後3時 午後3時30分～午後5時	0歳～大人 未就園児とその保護者	親子ライブラリー(自己管理による自由貸し出し) 育児相談(事前連絡必要)	
(以下の支援事業の申込み・問合せは、市役所の各担当課にお願いします)							
乳幼児短期保護 東京恵明学園	子育て 支援課 558-1111	原則として7日以内	24時間	就学前の児童(市内在住)	一時的に保育を受けられない児童に対し、東京恵明学園において保育を行う 費用(10時間未満3,000円、10時間以上4,000円)		
乳幼児一時保育 市内保育所等		原則として週3日以内	午前7時30分～午後6時30分 おおむね1日8時間以内	就学前の児童(市内在住)	一時的に保育を受けられない児童に対し、保護者に代わって保育を行う 費用(0歳児 4時間以内2,000円、4時間以上3,000円・1歳児以上 4時間以内1,500円、4時間以上2,500円)		
病後児保育 秋川あすなる保育園		原則として7日以内	午後7時～午後8時	通所している児童 (市内在住)	病後回復期にある児童を保育する 費用(1日当たり2,000円)		
休日保育 西秋留保育園	児童課 558-1111	日曜日及び祝日 (元旦を除く)	午前7時～午後6時 おおむね1日8時間以内	市内に通所している児童 (市内在住)	費用(日額 0歳児 3,000円 1歳児以上 2,500円)		

# 特集 2

# 子育てサポート Map

市内の保育施設や公共施設では様々な子育て支援を行なっています。特集2では入園・就学前の子どもたちが保護者と一緒に参加できる遊び場などを紹介します。



## 親子の遊び場

※児童館は親子で自由に遊べる施設です！

名称	連絡先	実施日	時間	対象	内容
児童館幼児クラブ	若竹児童館 558-6231	毎週金曜日	午前10時～11時30分	2歳～4歳児とその親	お母さん方の自主的な活動でいろいろな行事を行う(集団活動を通して、幼児の遊びと親同志の交流の場) 定員30組 年1回申込み制(5月)
	若葉児童館 559-3967				
	南秋留児童館 559-4646				
	屋城児童館 558-5288				
	一の谷児童館 558-0266				
	草花児童センター 558-3112				
	前田児童館 558-7331				
多西児童館 558-6230					
よちよちタイム	草花児童センター 多西児童館 558-3112 558-6230	月1回(水曜日)	午前10時30分～11時30分	1歳児(歩ける子ども) 1歳児(歩けない子ども)	自由遊びと手遊びやパネルシアターなど
はいはいタイム		月1回(水曜日)			
親子のびのび開放	秋川体育館 559-1163	毎週月曜日	午前9時～11時	幼児とその親	小体育室を開放(定員先着順40組程度)
親子水泳くらぶ		6月17日～7月15日 日の毎週土曜日 (全5回)	午前10時～12時	3歳～就学前児とその親	プールで水慣れを行いながら、親は補助方法を学ぶ(定員25組)
親子自由開放	五日市ファインプラザ 596-5611	全24回(火曜日)	午前9時～11時	就学前児とその親	体育室に跳び箱やマット、平均台や遊具を設置し開放
プール親子		全4回(日曜日)	午前10時～12時	3歳～就学前児とその親	プールの個人利用者を対象に親は補助法を、子どもには水慣れや個人のレベルにあったアドバイスを行う
ワンポイントアドバイス		全13回(日曜日)	午前10時～午後5時	3歳～小学3年生とその親	プールに専用コースを設け、水深を調整し、より安全に水泳ができるようにする
遊びを通じての親子のつどい	あきる野保健相談所 558-5091 (母子保健係)	全3回	午前10時～11時30分 (受付午前9時30分～)	7ヶ月～1歳児とその親	親子遊び・交流会・親子関係の話・子育て支援情報など(定員60組)申込み制

## おすすめ 遊び場

### 都立・小峰ビジターセンター

<http://www1.ocn.ne.jp/~komine/>

- 開館時間
- 休館日
- 場所

午前9時～午後4時30分  
毎週月曜日(月曜日が祝日にあたる  
ときは、その翌日) 年末年始  
あきる野市 留原284-1  
☎ 595-0400



小峰公園の入口に建つビジターセンター

草木を使った簡単なクラフト制作や、ビデオやスライドも見る事が出来るので雨の日にもおすすめです。館内は土足厳禁で、小さなお子さんも安心して遊べます。もちろん、お天気の日には公園で走り回って遊べます。自然教室などのイベントも随時開催中。詳しくは都の広報かホームページをご覧ください。



親子で作った木の実のクラフト

# 子どもの居場所

子どものための小さな図書館として、私設の文庫活動が盛んになったのは1960年代から70年代であるといわれています。その多くは女性たちが中心になって運営を行っていました。現在の子ども文庫は、図書館の充実などから活動内容も変化しています。市内で文庫活動を続けている人たちを訪ねてみました。

## 本と遊びの場

### せきれい文庫(山田地区)

「せきれい文庫」は、山田会館を本拠地とし、本を通じた子どもの居場所作りとして、様々なコミュニケーション活動を行っています。

地域のこども文庫としての活動は昭和50年から始まり、今年で30年になります。都立青梅図書館の移動図書館「むらさき号」から団体貸し出しを受け、子どもたちに本の貸し出しや読み聞かせを行ったのがきっかけです。

当時、五日市地区には図書館がなく、「子どもによい本を読ませたい」とのお母さんたちの思いから始まり、平成14年には「子どもの読書活動優秀実践団体」として



お母さんと一緒にどら焼き作り

文部大臣賞を受賞しました。蔵書数は約1000冊あります。

親子が集う場として文庫活動や自然、歴史を生かした体験活動も行っています。地域の専門家を招き、秋川で化石採集や野鳥観察をしたり、夏はお父さんから川遊びを教わり、釣りも楽しみます。

クリスマスリース作りは、春の種まきから始まり、夏の草取りな

ど素材づくりから行っています。これらの活動状況は「文庫ニュース」でお知らせしています。

現在約10人のお母さんたちが活動しています。代表の南澤美知子さんは「本の読み聞かせなども行いながら、親子で楽しむ会として活動しています。子ども達が本を読むきっかけになればうれしいです」と語っています。

## 小さな図書館

### つくしんぼ文庫(二宮地区)

「文庫のおばさん」と呼ばれている中西信子さんは、二宮地区で毎週水曜日の午後、自宅敷地内で子ども文庫を開いています。

中西さんは昭和47年、横浜で3人の子育てと同時に子ども文庫を始めました。その後、夫の転勤と共に移った九州や、海外でも文庫活動を続けました。20年間に集めた児童書は2000冊以上になります。

あきる野市で子ども文庫を再開するきっかけになったのは、「地域の仲間に入れてもらおう」と思ったこと、その頃、毎日のよう

に報道されていた子どもの心が荒れているというニュースでした。

「自分の気持ちを話さず、相手の話を聴け、豊かな想像力を育むには、子どもの頃から絵本やお話に接することではないかと思っています。小さな子ども達の身近な家庭文庫として、若いお母さんたちの出会いの場、子育て情報の交換の場、学校とは違った子どもたちの出会いの場としていきたい。文庫の本を眺めると、住んでいた場所と、そこで出会った子どもたちとのドラマがぎゅっと詰まっている」と中西さんは文庫活動を続けています。



子どもたちに読みきかせをする中西さん

# 男女共同参画用語

## 次世代育成支援行動計画

平成17年4月に制定された次世代育成支援対策推進法第8条に基づき、地域における子育ての支援計画を定めた法定計画。都道府県や市町村、従業員301人以上の事業所には「特定事業主行動計画」の策定が義務付けられています。

あきる野市では、平成17年3月に策定しました。子育て支援のために全庁的に様々な施策が取り組まれています。

## ポジティブアクション (積極的改善措置)

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくものです。

男女共同参画社会基本法では、積極的改善措置は国の責務として規定され、また、国に準じた施策として地方公共団体の責務にも含まれています。

あきる野市では、審議会委員等への女性の参画率30%を目標に、委員の選考方法を公募にするなど弾力的運用を行っています。

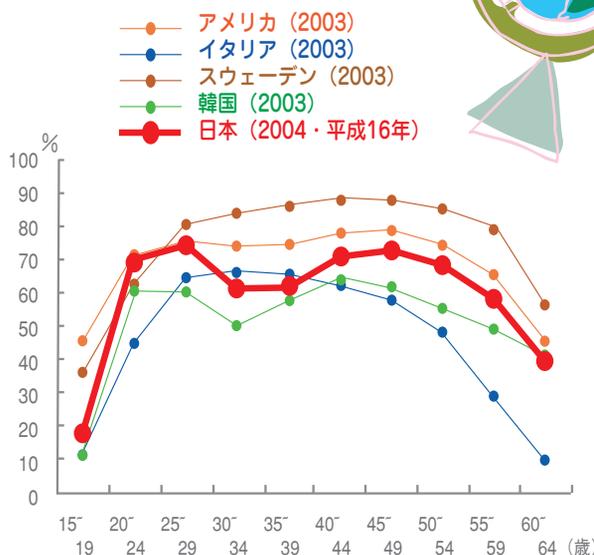
## 働く女性の実情と国際比較

育児期には就業を中断

現在の日本は人口や労働人口の減少が見込まれ、急速に少子高齢社会を迎えています。このグラフの縦軸は人口に対し就業している人の割合で、労働力率と言います。横軸は年齢層です。折れ線の各点は各年齢層の労働力率（各年齢層の労働人口をその層の人口で除した百分率値）になります。日本の「30〜34、35〜39歳層（M字の底）」は育児による就業の中断とされています。

日本はM字型カーブ

このグラフで示されている各国の線の形を見ましょう。日本や韓国は「30〜34歳層」で一旦離職する人がいるM字型カーブですが、アメリカやスウェーデン、イタリアは概ね台形を描いています。1970年代はM字の底は「25〜29、30〜34歳層」で労働力値も40%台でしたが、その後は就業を継続する人が増えたことや未婚率の上昇が主因で現在のM字型に至つたと言われています。



将来は欧米型に

活力のある社会を継続するため女性の社会での活躍が期待されています。そのために育児・介護や就業環境の整備等の社会的支援やパートナーの協力がますます必要となつてきます。女性が安心して働きつづけられるとき、日本も欧米の様な台形型になっていくでしょう。

参考資料

厚生労働省：平成16年版 働く女性の実情

キリトリ

- せたがやチャイルドライン  
毎日ご4時～9時  
(日曜と祝日は休み)  
03-3412-4747
- チャイルドラインたちかわ  
(日)ご1時～5時  
042-526-7622
- 八王子チャイルドライン  
「ココロ」  
(水)ご6時～9時  
(土)ご2時～5時  
0426-44-2232

- 子どもネット八王子  
ごとのでんわ★21  
(日)(月)よる6時～9時  
0426-31-8353
- チャイルドラインむさしの  
(月)(火)ご2時～8時  
0422-52-5100
- 子どもの電話ゆう・YOU・友  
(月)ご5時～9時  
0422-32-7117
- 中野子ども電話  
(土)ご4時～9時  
03-3229-2525
- 東京シュレチャイルドライン  
(木)ご5時～9時  
03-3350-6424

- しながわチャイルドライン  
(金)よる7時～10時  
03-3494-8872
- えどがわチャイルドライン  
毎月5.15.25日  
ご7時～10時  
03-3674-6677
- めぐるチャイルドライン  
同世代の人と話したいとき  
第1・3土曜日ご5時～9時  
03-5701-2520
- おとなの人と話したいとき  
(木)ご5時～9時  
03-5701-2519



東京のチャイルドラインだよ!

<http://childline.x0.com/>

資料出所：ILO「LABORSTA」  
総務省統計局「労働力調査」

『おもちゃ病院あきる野』は平成16年8月に発足しました。「物を大

壊れたおもちゃ直します！  
 子どもの頃に遊んだおもちゃ、壊れてしまったけれど、何となく捨てられなくてとってある、ということはありませんか？  
 小学校1年生位の女の子がお母さんと一緒におもちゃのピアノを持ち、『おもちゃ病院あきる野』と看板の出ている秋川ふれあいセンターの2階を訪れました。



ボランティアグループ  
おもちゃ病院あきる野



修理は無料  
(部品は実費)



こんなおもちゃも直せます



おもちゃの修理をするドクターたち

編集後記

- ・編集に携わりはじめて少子化は日本の将来にとって深刻な問題ということに気づきました。(石川 光代)
- ・子どもを連れて参加させてもらいました。(大木 浩子)
- ・編集会議は私にとって重要な勉強の場。毎回力不足を感じるけれど、なぜかやめられないです。(藤村 美映)
- ・子育てのストレスを抱えてがんばっている皆さんの助けになって欲しいという気持ちでつくりました。(斎藤 映子)
- ・編集会議の議論が楽しかった～。(佐藤 さち子)
- ・意見続出の会議途中のコーヒータ임、ホッと一息！参加の楽しみのひとつ。(関口 千恵)
- ・女性が働き続ける為には、育児・介護・パートナーの協力この3要素が必要だと討論を通して理解した。(平野 博典)
- ・表紙絵 (吉田美沙子)



エフ・ウェイブ 第16号 2006年3月発行

発行/あきる野市教育委員会社会教育部社会教育課 〒197-0814あきる野市二宮550  
 TEL042-558-1111 FAX042-558-1560  
 企画・編集/あきる野市男女共同参画情報誌編集委員会



Information

インフォメーション

情報誌編集委員募集

男女共同参画情報誌「エフ・ウェイブ」の編集委員になってみませんか。「いろいろな人と知り合いたい」「編集ってどんなことするの?」そんなあなたを大歓迎!

- 内容 男女共同参画社会をめざした情報誌の企画・編集 (取材・執筆・デザインなど)
- 対象 市内在住・在勤の方
- 謝礼 年間2万円(予定)
- 任期 1年間 (平成18年4月から平成19年3月まで)
- 問合せ 社会教育課男女共同参画推進係へ 558-1111 内線3016

キリトリ



18歳までのこどもがかけるでんわ  
チャイルドライン

18歳までの ぜんよう 子ども専用でんわ

チャイルドラインのやくそく

- ヒミツはまもるよ
- どんなことも、いっしょに考える
- なまえは言わなくていい
- イヤになったら、切っていい

主催 NPO法人チャイルドライン支援センター